

本単元で育む主な情報活用能力

**B-STEP 4, C-STEP 4
L-STEP 2, P-STEP 3**

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時のねらい

- 身近な地域が抱えている課題を意欲的に考え、よりよい地域社会をつくるための解決策を考え、公約として表現する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- 公約を考えるための情報収集をする。情報を比較・分析し一人ひとりの意見を表現したり、班の意見をまとめたりする。
- プレゼンテーションを行うことで、情報を比較・分析する力や情報活用能力を育成する。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ミライシード オクリンプラス
- ・Forms

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 前時に作成した、班の意見をもとにまとめた公約を各班で確認する。 めあて「各班の発表を聞いて、よりよい社会の形成のために必要なことを考える」 (9つの班に分かれて作業をする。) 	<ul style="list-style-type: none"> 各班がオクリンプラスを開き、前時でまとめた公約を確認することで、本時のめあてを明確にする。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> 各班の公約を班ごとにスライドを使用し発表する。 【写真1】 1つの班の発表が終わるたびに、オクリンプラスに設定している各班の質問箱に質問を入れる。 【写真2】 全ての班の発表が終わり次第、各班は質問箱を確認し、質問に回答する。(必ず1～2個の質問に答える) 【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> オクリンプラスに設定している質問箱に、各班に質問したい内容を投稿する。質問は必ず一人一個以上書くよう促すことで、積極的な比較・分析を進める。 各班は質問箱の意見を見て、オクリンプラスを活用して回答する。 リアルタイムで回答することで意見交流がより活発になる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 各班の意見や質問による回答などを総合的に判断し、Formsで最も良い公約を掲げていると思う班(首長候補)に投票をする。 振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 投票をFormsで行うことにより、瞬時に結果が示され、分析ができ、全体で共有しやすくなる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】各班で公約を発表する。



【写真2】オクリンプラスを使って、質問を書く。



【写真3】各班の質問箱を確認し、回答する。

児童生徒の反応や変容

- オクリンプラスを使用することで、全員が課題に対して考えることができ、自分の意見を伝えられていた。
- 生徒はクラスの他の生徒の意見や質問について考えることができている、回答に向けて意欲的に、班で話し合っていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- 質問箱を設けることで、挙手するより個々が主体的に取り組むことができ、たくさんの意見を共有することができる。
- 質問箱を活用することで、疑問に思ったことをすぐに投稿することができ、知識の確実な定着につなげることができる。